

# 埼玉

※2026年春実施の全国公立高校入試情報は、2025年12月9日現在によるものです。

## 1.日程

[入学者選抜]

●学力検査

2/26

○実技検査・面接(一部の学校)

2/27

○入学許可候補者発表

3/6

※追検査 3/3

## 2.学力検査

国語：50分・100点

数学：50分・100点

英語：50分・100点

理科：50分・100点

社会：50分・100点

<500点満点>

※傾斜配点を実施する学校がある。→「備考」参照。

※数学・英語、で「学校選択問題」を実施する学校がある。→「備考」参照。

※実技検査のある学科…芸術系の学科、体育系の学科・コース、スポーツサイエンス科、伊奈学園総合の芸術系・スポーツ科学系

※外国語科・外国語コース等では、英語による問答を内容とする実技検査を実施することができる。

○英語聞き取りあり

○国語課題作文あり（例年）

## 3.調査書

[評定の記載方法]

○1年…5段階(絶対評価)

○2年…5段階(絶対評価)

○3年…5段階(絶対評価)

[調査書点の算出方法]

各学年ごとに 9教科×5段階=45点満点

「1年：2年：3年」の比は、各高校が定める。

(例)・「1:1:1」の場合

9教科×5段階×3学年=135点

・「2:2:3」の場合

9教科×5段階×2+9教科×5段階×2+9教科×5段階×3=315点

以上の①学習の記録の得点に、②特別活動等(学級活動、生徒会活動、学校行事等)の得点・③その他の項目の得点が各高校の基準により加算される。(①>②+③)

#### 4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

高校により異なる。

[判定方法]

各高校により選抜の基準にかかる数値が決められている。

○第1次選抜

学力検査の得点①、各校で定めた定数を乗じた第1次選抜における調査書の得点の換算点②と面接・実技検査等の得点(実施した場合)の換算点③を算出、①～③の合計④に基づき募集定員の60～80%を選抜(③<①+②)。調査書と学力検査の比重は4:6～6:4。

○第2次選抜

残りの者から、学力検査⑤(=①)、各校で定めた定数を乗じた第2次選抜における調査書点⑥と面接・実技検査等の得点の換算点⑦を算出、⑤～⑦の合計⑧に基づき残った定員の60～100%を選抜(⑦<⑤+⑥)。調査書と学力検査の比重は3:7～7:3。

○第3次選抜(行わない高校もある)

第1次選抜の合計点または第2次選抜の合計点の値をもとに、選抜の対象者を選び、調査書の特別活動の記録やその他の項目の得点、第2次選抜での得点から1つまたは2つ以上の組み合わせなどを用いて選抜する。通学距離・通学時間を資料に加える場合もある。

※第2志望を認めた場合、その選抜は当該学科・コースの第2次選抜の際に含めて選抜する。

#### 5. 推薦入学等

実施しない。

#### 6. 備考

県内すべての公立高校に志願できる。

同一課程に2学科以上ある高校、普通科でコース等を設置する高校で、同一の資料で選抜ができる場合は、当該高校は第2志望を認めることができる。

実技検査を実施しない学科・コースで面接(個人面接、集団面接、両者の併用)を実施する場合がある。

※追検査

インフルエンザ罹患など、やむを得ない事情で学力検査等の検査を受けられなかった受検生を対象に実施される。

※帰国生徒・外国人生徒については、入学者選抜の日程に合わせて、学力検査の教科数を減じた特別選抜が実施される。実技検査や面接を実施する高校を志願する場合は、他の志

願者と同様に受検する(面接の場合は個人面接)。

ただし、外国人特別選抜は、実施校が限定される。

[学力検査の傾斜配点]

○大宮光陵・春日部女子・越谷南・坂戸・南稜の外国語科(コース)、秩父の国際教養科、和光国際の国際科…英×2

○大宮・熊谷西・所沢北・松山・川口市立の理数科、大宮科学技術の全学科…数・理×2

○春日部東の人文科…国・社・英×2

[数・英の学校選択問題実施校]

浦和、浦和第一女子、浦和西、大宮、春日部、川口北、川越、川越女子、川越南、熊谷、熊谷女子、熊谷西、越ヶ谷、越谷北、所沢、所沢北、不動岡、和光国際、蕨、さいたま市立浦和、さいたま市立大宮北、川口市立